

はじめに

これまで約15年にわたって年間1000冊ペースで本を買ってきました。ところが今は、月に5冊程度しか買わなくなりました。急に、ここまで買わなくなったことに、自分でもびっくりしています。

これはぼく自身の興味が、より身体的なものに移ったことが大きいと思っています。アンチ・インターネットとも言えるかもしれません。スマートフォンさえあれば、あらゆる情報がいつでも簡単に手に入ります。自分が体験したことなんか何もなくても、わかった気になれます。今やインターネットと無縁の生活を送ることは不可能でしょう。

だからこそ、ある時から「インターネットで味わえない体験にこそ価値があるのではないか？」と考えるようになりました。それは、別に難しいことではありません。衣食住、人と会う、いろんな場所へ行って五感で感じるといった、とてもシンプルなこと。

それで、今は、衣食住の「衣」について、学んでいるところです。最初に考えたのは「世界中のあらゆる服を全部着てみよう」ということでした。着たことのない素材の服や、着たことのないブランドの服など、見つけたら買うようにしていました。実際に着て体験することで、本当に良質な服とは、どういうものなのか、少しずつわかってきました。まだ完全にはわかりませんが、完全にわかることは一生ないでしょう。

「世界中のあらゆる服を買うなんて、いくらお金があっても足りない！」

そう思われるかもしれませんが、そんなことはありません。年

間約1000着の服を買っていて、約3000着の服を所有しているのですが、半分以上は500円以下で買っています。100円で買った服も多くあります。ただ安いだけでなく、多くの人が憧れるラグジュアリーブランドから、知る人ぞ知る世界最上級のシャツメーカーの服まで、あらゆる服を格安で買っています。

実際に身に着けることによって、「なぜ、このブランドが多くの人々を魅了し続けるのか？」ということも少しずつ理解できるようになりました。それは、上質な素材を使っているから良いといった単純なものではありません。工夫をこらしたデザイン、これまでにないチャレンジングな試み、今という時代の空気感の表現など、様々な事柄によってブランドのイメージがつくられていきます。

しかし、伝統のあるラグジュアリーブランドの価格は、高騰し続けています。ブランド側が、意図的に高く設定している場合も少なくありません。多くの人々にとって、様々なブランドの良さを知る機会が減ってきているように感じています。これはとても残念なことです。

本書は、ぼくがこれまでに500円以下で買った古着を「ワンコイン古着」と命名して紹介しています。

手に取っていただいたみなさんが「自分でも買いたい」と思われた時に、買う手助けになるよう、買ったお店の情報も掲載しています。

これまで出会うことのなかった素材や、ブランドに触れるきっかけになれば幸いです。

それでは「ワンコイン古着」の世界をお楽しみください。